

- 問1 世界の農産物統計において、州別の生産割合を見ると南アメリカ州が約67.0%、北アメリカ州が約14.9%を占めており、南北アメリカ大陸だけで世界全体の8割以上を生産している農作物があります。この農作物として最も適当なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. カカオ
  2. 小麦
  3. 大豆
  4. 天然ゴム
- 問2 北アメリカ大陸では、広大な国土の中で年降水量や気温などの自然環境の違いを利用し、それぞれの地域に最も適した農作物を栽培する農業が行われています。このような、環境に応じた農業地域の分化を何と呼びますか。 (2026年 茨城公立入試 類似)
1. 適地適作
  2. 企業の農業
  3. 穀物メジャー
  4. 等高線耕作
- 問3 北アメリカ大陸の西部に位置し、環太平洋造山帯に属する、険しく高い山々が南北に連なる大山脈の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. ロッキー山脈
  2. アンデス山脈
  3. ヒマラヤ山脈
  4. ウラル山脈
- 問4 世界を4つの地域に分けて統計を比較した際、土地の面積は4地域中で2番目に広く、人口は2番目に少ないものの、国内総生産 (GDP) が他を圧倒して最も高い数値を示している地域はどこか、次の中から選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. アジア州
  2. 北アメリカ州
  3. 南アメリカ州
  4. ヨーロッパ州
- 問5 アメリカ合衆国の乾燥地域であるグレートプレーンズでは、上空からの観察において多数の「緑色の円形が並ぶ農地」が見られることがあります。このような景観を生み出している「センターピボット」と呼ばれる灌漑農法の仕組みとして、正しいものを選びなさい。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
1. 地下水をくみ上げ、スプリンクラーを備えた長いアームを回転させて散水する仕組み
  2. 土地の中央に設けた巨大な水槽から、放射状に掘られた水路に自然の傾斜で水を流す仕組み
  3. 円形の農地の中央に植えた高い樹木によって霧を発生させ、その水分を土壌に供給する仕組み
  4. 海水を淡水化する装置を農地の中心に設置し、円を描くように人力で散水して回る仕組み
- 問6 世界の諸地域に関する統計資料において、面積が約963万平方キロメートルと中国と同程度の広さを持ち、国内総生産 (GDP) が単独の国として世界で最も大きな数値を示している経済大国はどこですか。 (2014年 兵庫公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国
  2. 中国
  3. ブラジル
  4. インド
- 問7 アメリカ合衆国の中央部に広がる乾燥した地域では、上空から見ると巨大な円形の耕作地が数多く並んでいる様子が確認できます。このような景観が作られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 360度回転する散水機を用いた大規模な灌漑を行っているため
  2. 斜面の侵食を防ぐために等高線に沿って耕作を行っているため
  3. 山地の斜面を階段状に切り開いて土地を有効活用しているため
  4. 円形の移動式フェンスを用いて家畜の放牧範囲を管理しているため
- 問8 シリコンバレーにおいて、情報通信技術 (ICT) 産業が高度に集積している背景や理由として、適切なものはどれですか。 (2024年 和歌山公立入試 類似)
1. 大学などの研究機関との連携が容易で、高度な知識を持つ人材や新しい情報を得やすいため。
  2. 内陸部で産出される鉄鉱石や石炭を、水上交通を利用して安く大量に運搬できるため。
  3. メキシコ国境に近く、工場で働くための安価な労働力を大量に確保できるため。
  4. 連邦政府が、この地域を重化学工業の拠点として大規模な国営工場を建設したため。
- 問9 アメリカ合衆国の北緯37度以南に位置する「サンベルト」と呼ばれる地域について、この地域で先端技術産業が急速に発展した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大阪公立入試 類似)
1. 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が確保しやすかったため
  2. 五大湖周辺の豊富な鉄鉱石と石炭を利用した鉄鋼業が発展したため
  3. 冷涼な気候が精密機械の製造に適しており、古くからの研究機関が集まっていたため
  4. 大西洋に近い地理的条件を活かし、ヨーロッパ諸国との貿易の中継地となったため
- 問10 カナダの地理的・経済的特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 広大な国土に対して人口密度が極めて低く、大規模な機械化農業によって世界有数の小麦の生産量を誇る。
  2. 豊富な労働力を背景とした集約的な稲作が行われており、人口密度が非常に高く、食料自給率も高い。
  3. 熱帯雨林の開発により大豆の生産が盛んだが、急速な人口増加により1人あたりの国内総生産は低い水準にある。
  4. 広大な国土を持つが、乾燥帯が多いため農業は振るわず、経済は原油などの鉱産資源の輸出にのみ依存している。
- 問11 アメリカ合衆国の北緯37度より南の地域では、1970年代以降に新しい工業が急速に発達しました。この地域で航空宇宙産業や情報通信産業が成長した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口公立入試 類似)
1. 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が得られやすかったため
  2. 五大湖の水運とアパラチア山脈の石炭を組み合わせる鉄鋼業を振興したため
  3. サンフランシスコ近郊に情報通信産業の企業が集中し、シリコンバレーと呼ばれたため
  4. 古くから続く綿花栽培の労働力をそのまま先端技術産業に活用できたため
- 問12 アメリカ合衆国の北東部から中西部、特に五大湖周辺に集積する自動車工業について、統計上の特徴や貿易の動向を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 人口千人あたりの自動車保有台数が約860台と非常に高く、自由貿易協定を活用してカナダやメキシコなどの隣国への輸出を盛んに行っている。
  2. 国内産業を保護するため特定の国のみの企業が生産を独占しており、主にアフリカなどの発展途上国への輸出に力を入れている。
  3. 広大な国土のため自動車の需要は高いが、自由貿易協定による関税の影響を避けるため、隣国への輸出よりもアジア市場を優先している。
  4. かつては五大湖周辺で盛んであったが、現在はすべての工場がサンベルトへ移転したため、北東部での生産は完全に行われなくなっている。
- 問13 アメリカと中国はともに日本への農林水産物輸出において大きなシェアを持っていますが、その生産体制には大きな違いがあります。アメリカが中国に比べて圧倒的に少ない農業従事者数で大規模な生産を維持できている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 広大な農地に大型機械を導入し、少人数の労働力で効率的な生産を行っているため
  2. 都市近郊に農地を集中させ、輸送コストを抑えた労働集約的な生産を行っているため
  3. 土地を細かく区切り、家族経営を中心とした丁寧な手作業で収穫量を増やしているため
  4. 灌漑施設をあえて使わず、自然の降雨のみに頼ることで環境負荷を抑えた生産をしているため

## 答え合わせ・解説

問1	答え 3 大豆	大豆はアメリカ合衆国、ブラジル、アルゼンチンといった南北アメリカ大陸の国々が主要な生産地域となっています。特に近年、南アメリカ州での生産拡大が著しく、世界全体の生産量の過半数を占めるようになっていきます。カカオはアフリカ州、天然ゴムは東南アジアでの生産が中心であるため、この統計データとは一致しません。
問2	答え 1 適地適作	アメリカ合衆国やカナダでは、年降水量500mmや1000mmのライン、および気温の変化に応じて、小麦、とうもろこし、綿花、酪農といった農業地域が明確に分かれています。このように自然の条件を最大限に生かして効率的に生産を行う仕組みを「適地適作」といいます。企業の農業は、大規模な資本を投じて機械化された農業の経営形態を指す言葉であり、仕組みそのものを指す適地適作とは区別されます。
問3	答え 1 ロッキー山脈	北アメリカ大陸の西海岸沿いには、プレートの沈み込みなどの地殻変動によって形成された新期造山帯の山脈が走っています。これがロッキー山脈です。同じく環太平洋造山帯に属するアンデス山脈は南アメリカ大陸に位置し、ヒマラヤ山脈はアジア、ウラル山脈はロシアのヨーロッパとアジアの境界付近に位置するため、大陸ごとの位置関係を把握しておくことが重要です。
問4	答え 2 北アメリカ州	北アメリカ州は、広大な領土を持つ一方で人口密度はアジア州などと比べて低いという特徴があります。しかし、高度な技術開発や豊かな資源、大規模な産業背景により、地域全体の経済規模を示す国内総生産（GDP）は世界最高水準に達しています。
問5	答え 1 地下水をくみ上げ、スプリンクラーを備えた長いアームを回転させて散水する仕組み	降水量の少ない内陸のグレートプレーンズなどでは、不足する水分を補うために地下水を利用した灌漑が行われています。センターピボットは、固定された中心点から伸びる長いアームが、車輪で自走しながら円を描くように回転し、スプリンクラーで水を撒く農法です。このため、散水範囲が正確に円形となり、航空写真などでは巨大な円が並んでいるような独特の景観として現れます。
問6	答え 1 アメリカ合衆国	北米大陸に位置するアメリカ合衆国は、広大な国土を背景に農業・工業・サービスのあらゆる分野で世界をリードしています。単独の国として世界最大の国内総生産（GDP）を誇っており、その経済規模の大きさから世界最大の経済大国と呼ばれています。
問7	答え 1 360度回転する散水機を用いた大規模な灌漑を行っているため	北米大陸の降水量が少ない地域では、地下水を汲み上げ、アーム状の散水機を回転させて水をまく「センターピボット方式」が採用されています。散水機が届く範囲にのみ作物が育つため、結果として円形の農地が形成されることとなります。選択肢にある等高線耕作や棚田は、主に斜面地で用いられる手法であり、この平原で見られる円形の景観とは異なります。
問8	答え 1 大学などの研究機関との連携が容易で、高度な知識を持つ人材や新しい情報を得やすいため。	ICT産業のような知識集約型産業では、最新の技術革新や高度な専門知識を持つ人材が不可欠です。シリコンバレーはスタンフォード大学などの有力な大学が近隣にあり、産学連携を通じて新しい技術やベンチャー企業が次々と生まれる仕組みが整っていることが発展の大きな要因です。
問9	答え 1 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が確保しやすかったため	サンベルトが発展した主な要因は、冬でも過ごしやすい温暖な気候であること、工場を建てるための広大な土地が確保しやすかったこと、そして比較的安価な労働力が得られたことです。こうした好条件を求めて、かつての工業の中心地であった北東部から多くの企業や人々が移住し、ハイテク産業の成長を支えました。
問10	答え 1 広大な国土に対して人口密度が極めて低く、大規模な機械化農業によって世界有数の小麦の生産量を誇る。	カナダは人口密度が1平方キロメートルあたり約4人と、世界的に見ても極めて人口が希薄な国です。しかし、広大な平原（プレーリーなど）において、航空機や大型機械を用いた効率的な農業を行うことで、世界的な小麦の供給地となっています。高い付加価値を生む工業やサービス業も発展しているため、1人あたりの国内総生産も先進国水準に達しています。
問11	答え 1 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が得られやすかったため	サンベルトの成長は、豊かな自然環境（温暖な気候）だけでなく、工場を建てるための安価な土地や、労働組合の力が比較的弱く賃金が抑制されていた労働力が存在したことが要因です。シリコンバレーはサンベルトの一部に含まれますが、地域全体の発展理由としては広範な社会的条件を指すものが適切です。
問12	答え 1 人口千人あたりの自動車保有台数が約860台と非常に高く、自由貿易協定を活用してカナダやメキシコなどの隣国への輸出を盛んに行っている。	アメリカ合衆国は、世界的に見ても自動車保有台数が非常に多い（千人あたり約860.4台）という特徴があります。自動車工業は伝統的に五大湖周辺の北東部から中西部にかけて発達しており、現在は自国企業だけでなく多くの多国籍企業が生産を行っています。また、USMCA（旧NAFTA）などの自由貿易協定を結んでいるカナダやメキシコといった隣国への輸出が、貿易において重要な役割を果たしています。
問13	答え 1 広大な農地に大型機械を導入し、少人数の労働力で効率的な生産を行っているため	アメリカの農業の最大の特徴は、広大な農地を少人数で管理する生産効率の高さにあります。これを支えているのが大型機械の導入であり、一人あたりの耕作面積が中国などのアジア諸国と比べて極めて広いことが背景にあります。中国は統計上、農業に従事する人口が非常に多く、労働力を大量に投入するスタイルが残っています。